

様式 2

輸出事業計画

※申請者名：小林酒造(株)、品目：日本酒

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 産地における主原料（米）の品質が向上している
- 国内での日本酒消費量が減少している
- 市場開拓・拡大を見込める海外輸出がカギだが、規制などを解決する必要がある

【課題】

- 製造する日本酒のさらなる品質向上
- 各国の基準を満たす衛生管理基準のクリア
- 現地販売業者との体制強化

2. 輸出事業計画の取組内容

○新工場建築による改善

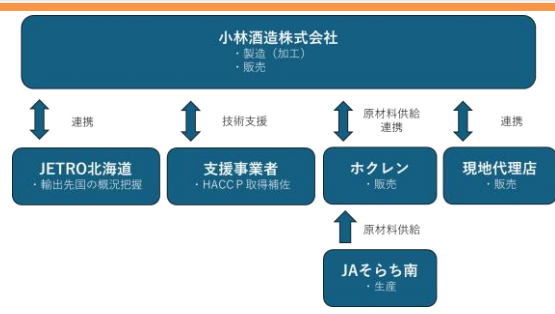
- ・輸出先国の規制に対応できる衛生管理面の強化、H A C C P 取得
- ・製造、品質管理の機能改善による品質向上

項目	現工場	新工場
衛生管理	・老朽化が激しく、HACCP取得の衛生管理基準に満たない	・気密性の向上、衛生エリアの区分け等によりHACCP取得が可能に
品質	・製造エリアと瓶詰エリアの酒移動距離が長いことによる品質劣化（酸化） ・製造エリアの温度管理が外気温に依存する事での発酵管理難度高	・コンパクトな工場建設により移動距離が短く品質向上 ・各所での温度管理が可能となり、発酵管理がしやすくなる
コスト	・工場の活動エリアが広すぎる事による蒸気、水道等の過剰使用でコスト高 ・製造エリアが広すぎる事による効率が悪化	・コンパクトな建物となり、蒸気、水道等のロス削減 ・製造エリアコンパクト化による動線縮小で効率改善

○展示会への参加

- ・現地販売社と連携した展示会への出展、試飲会の開催

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

	現状 (令和5年9月期)	目標年 (令和10年9月期)
輸出額（千円）	5,400	9,000
輸出货量（kl）	3.0	4.5
輸出先国	・シンガポール ・中国 ・オーストラリア ・アメリカ ・香港 ・台湾	・シンガポール ・中国 ・オーストラリア ・アメリカ ・香港 ・台湾 ・タイ